

公開実用 昭和57— 188487



実用新案登録願

昭和56年 5月22日



特許庁長官 田 春 樹 殿 適

1. 考案の名称

層に着用するホーン

2. 考 案 者

フリガナ 住 所 東京都町田市広袴町701の1

フリガナ 氏 名 洞 口 彰

3. 実用新案登録出願人

フリガナ 住 所 東京都町田市広袴町663

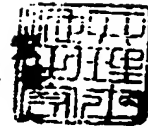
フリガナ 氏 名(名称) 北斗電線株式会社

代表取締役 洞口 彰

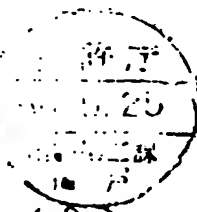
(国 籍)

4. 代 理 人 〒243-02

住 所 神奈川県厚木市飯山3132番地6

氏 名 第7635号 弁理士 池 田
TEL 0462-47-7555

5. 添付書類の目録

(1) 明 細 書 1通
(3) 願 書 副 本 1通(2) 図 面 1通
(4) 委 任 状 1通

56-074902

1023

BEST AVAILABLE COPY

明 細 書

1. 考案の名称

肩に着用するホーン

2. 実用新案登録請求の範囲

一端 2 と他端 3 を輪状に形成し、一端 2 と他端 3 を開閉できる首回り部 1 と、上記首回り部 1 の左右各々に起伏自在に連なる翼部 5 a, 5 b と、上記左右一対の翼部 5 a, 5 b 各々の上面に耳に対する対向角が調節可能なる如く配された超小型スピーカ 9 より成る肩に着用するホーン。

3. 考案の詳細な説明

本考案は肩に着用するホーンに係わり、更に詳しくはヘッドホーンや、イヤホーンに代わるショルダーホーンに関する。

周知の通り、ヘッドホーンやイヤホーンは広く多用されているが、超小型カセットテープレコーダが開発されてからは、超小型カセットテープレコーダを携帯すると共に超小型のヘッドホーンを装着して、歩きながら音を楽しむ為に

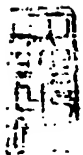
使用されるまでになつた。

このようにヘッドホーン、イヤホーンは広く多用されているが、ヘッドホーン等の場合、音が耳の中に閉じ込めりがちとなるので、多用されるにつれて、難聴の人が多く生ずるようになった。

本考案は述上の点に鑑み成されたもので、一端と他端を輪状に形成し、一端と他端を開閉できる首回り部と、上記首回り部の左右各々に起伏自在に連なる翼部と、上記左右一対の翼部の各々の上面に耳に対する対向角が調節可能なるが如くに配された小型スピーカより成る層に着用するホーンであつて、その目的とする所は、①難聴等耳の障害を生ずることなく、自からの為のみ音楽を楽しむことのできる手段を提供するにあり、又②耳に対する対向角を調節でき、音の指向性を良好にできる手段を提供するにあり、更に③層の縁に合わせて着用でき、装着性を向上させ得る手段を提供でき、そして④ファッションアクセサリとしても役立つ手段を提

供するにある。

次に添附図面に従い本考案の実施例を詳述する。



1 は一端 2 と他端 3 を輪状に形成したポリプロピレン等の材質より成る首回り部であり、一端 2 に設けた止め片 4 に他端 3 を嵌合することによつて一端 2 と他端 3 を並べて閉じることができ、逆に他端 3 を止め片 4 から外し一端 2 と他端 3 を開き首回り部 1 を身体の首回り、衿回りに装着できるもので、一端 2 と他端 3 を開いた状態に於て、この首回り部 1 は自からの弾性によつて常態の閉じ状態へ戻ろうとするものである。次いで、5 a, 5 b は上記首回り部 1 の左右対称位置に設けた翼部であり、首回り部 1 と同材質のポリプロピレン等の合成樹脂製で形成されている結果、首回り部 1 に対し第 2 図矢印 A で示す如く上下に自在に起伏するものである。そして上記翼部 5 a, 5 b の各々上面には耳に対する対向角を調節できる超小型スピーカーが配設されているものである。

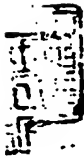
即ち、一方の翼部 5 a 上の超小型スピーカーは同じなので、一方に着目して詳述すると、第 4 図に示す如く翼部 5 a の先端を、周縁 6 を残して U 字状に切り欠き、自由端縁 7 を有する上下動片 8 と成し、その上に超小型スピーカー 9 を配すると共にウレタン等の材質より成るカバー 10 を冠する。カバー 10 と上下動片 8 は、上下動片 8 に突起 11 を形成し、カバー 10 の脚に凹部 12 を形成し、突起 11 と凹部 12 を互いに嵌合することによつて互いに他に対して装着するようにする。他方、周縁 6 から立ち上つた壁 13 に係合突起 14, 15, 16 を段階的に形成しておき、2 つの係合突起 14 と 15 又は 15 と 16 によつて上記の上下動片 8 を支持させるようにする。即ち上下動片 8 の自由端縁 7 を係合突起 14, 又は 15, 又は 16 上に置くと共にカバー 10 の側面に形成した凹部 17 に係合突起 14, 又は 15 又は 16 を嵌合して支持させるようにするものである。

そして上記の超小型スピーカー 9 に連なるコード 18 は翼部 5 a 及び 5 b 内を通り、首回り部 1

の内を通つて、一端 2 及び他端 3 から導き出され、図示せぬ超小型カセットテープレコーダ等音源に連なるものである。

述上の構成に基き使用例を説明する。

これを装着するには、先ず他端 3 を止め片 4 から外し、一端 2 と他端 3 を開き、その状態で身体の前回りに回す。衣服に衿がある場合には衿の内側に沿つて装着するとよい。その装着の際、左右の翼部 5 a, 5 b が身体の肩の上に位置し、左右対称となるように位置を定めて装着する。翼部 5 a, 5 b は本体の前回り部 1 に対し起伏自在なので、各人各様の肩の線に従つて肩の上に伏す。従つて肩に載らず肩の上の方に位置したり、逆に肩に喰い込むようなことがない。又このように翼部 5 a, 5 b を両肩の上に載せた状態に於ては、前回り部 1 が安定して衿回りに装着される。且つ前回り部 1 の先端 2 と 3 が胸の方にウエイトをかけて、全体を衿回りにフィットさせるので余計に装着性が良い。これにより、翼部 5 a, 5 b 上に配設されている超小型



スピーカー9が耳に対向するので、音源のスイッチをオンとすれば、音が肩あたり位置する左右のスピーカー9より発せられ、耳に至り聴取される。この場合、音は耳に閉じ込められがちとならないので、難聴発生等は防止される。而も耳に対向する肩あたりからの音声なので、周囲に迷惑を及ぼす事なく十分音を楽しむことができる。而して各人各様に耳と肩の相対位置関係が種々なので、超小型スピーカー9の耳に対する角度を変えたい場合には、第4図から第5図への調節に示す如く、壁13を外に開いて、カバー10の凹部17に対する突起14の嵌合を解き、同時に上下動片8の自由端縁7を突起15上から外し、突起14と15によるスピーカー9の支持を外す。そして、スピーカー9の傾角を緩やかにする場合には、第5図に示す如く、上下動片8を下段の突起16の上にのせ、同時にカバー10の凹部17と中段の突起15を嵌合し、突起15と16によつてスピーカー9を支持させる。このようにすればスピーカー9の耳に対する対向角を調節

でき、最適な状態で音を聴くことができる。而して、スピーカー9の耳に対する対向角を調節する手段は、この他に、スピーカーの床部をネジの螺動によつて上下動させて角度を調節するようにした、他の手段でもよい。

以上詳述した如く本考案は、一端2と他端3を輪状に形成し、一端2と他端3を開閉できる首回り部1と、上記首回り部1の左右各々に起伏自在に連なる翼部5a、5bと、上記左右一对の翼部5a、5bの各々の上面に耳に対する対向角が調節可能なる如く配された超小型スピーカー9より成るので、①難聴等を防止でき、自分1人で音を楽しむことのできる新たな手段を提供でき、又②耳に対する対向角を調節でき、音の指向性を良好にできる手段を提供でき、更に③肩の線に合わせて着用でき、装着性が良い手段を提供でき、そして④ファッションアクセサリーとしても役立つ手段を提供できる。

4. 図面の簡単な説明

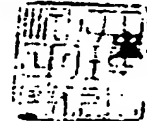
添附図面は本考案の実施例を示し、第1図は

平面図、第2図は正面図、第3図は右側面図、
第4図は第1図のX-X線に沿って示した断面
図、第5図は耳に対する角度を調節した所を示
す断面図、第6図は一端2と他端3の止め方の
例を示す斜視図、第7図は全体の斜視図、第8
図は装着して使用している所を示す斜視図であ
り、図中1は首回り部、2は一端、3は他端、
5 a、5 bは翼部、9は超小型スピーカーであ
る。

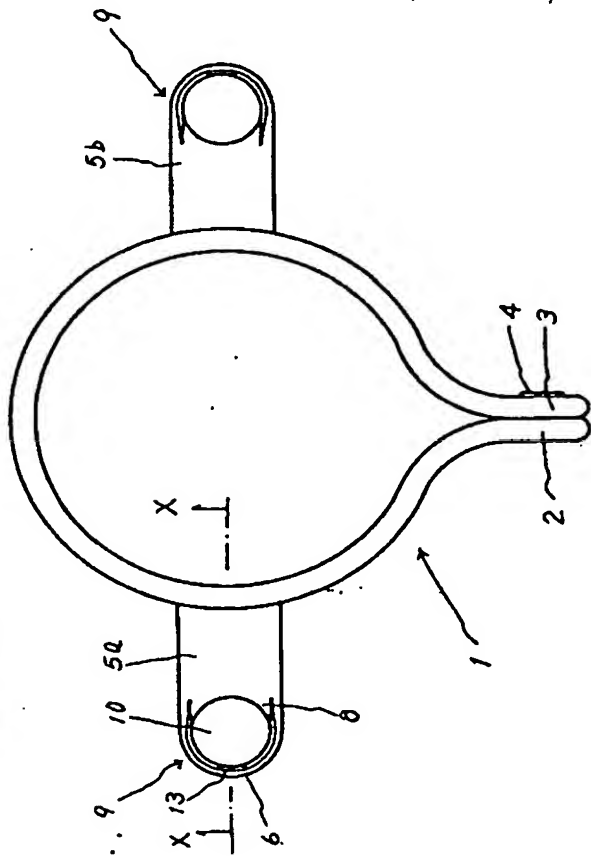
実用新案登録出願人

北斗電線株式会社

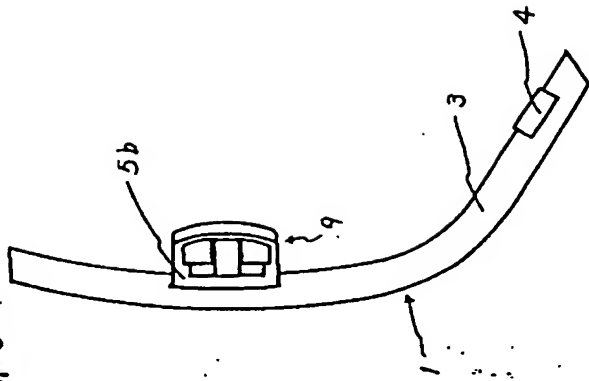
代理人 弁理士 池 田



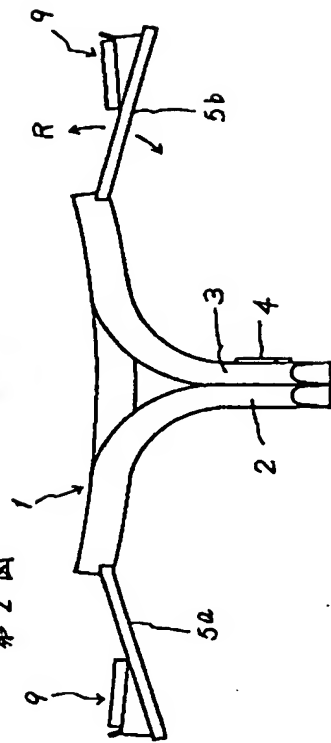
第1図



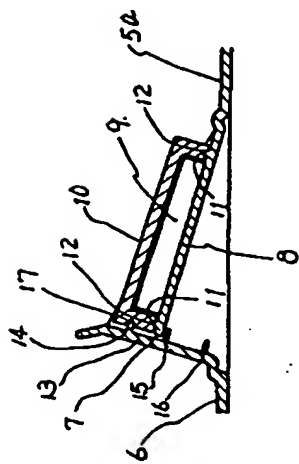
第3図



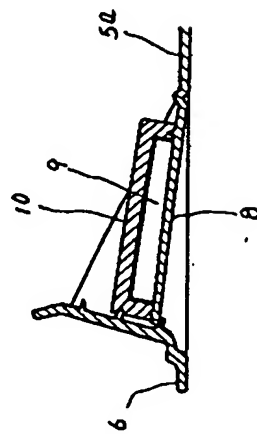
第2図



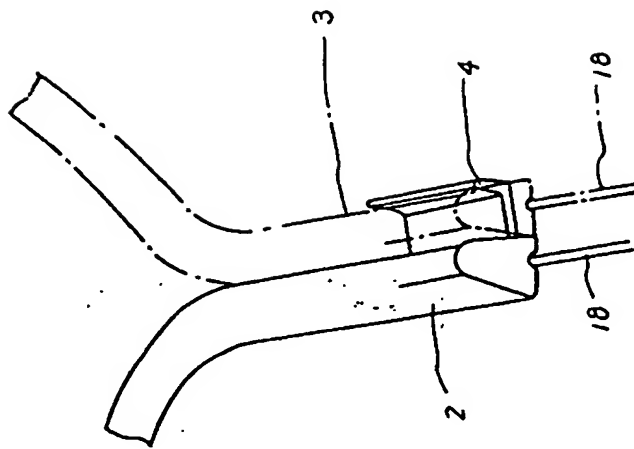
第4図



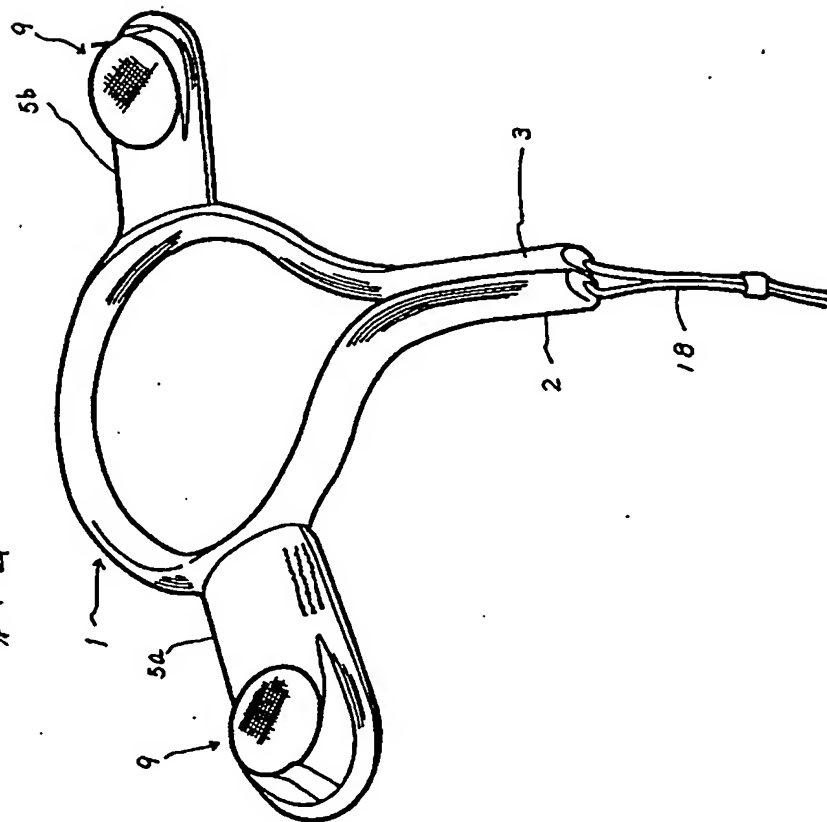
第5図



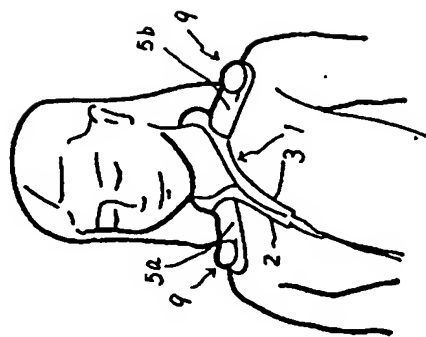
第6図



第7図



第8図



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☐ FADED TEXT OR DRAWING
- ☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.